

■ 京都で都市型狭小住宅建築の技と知恵を磨く 一



京都の旧市街は、細街路や間口が狭く細長い敷地が散在する。このような土地柄に合った注文住宅を手掛け、相隣関係等の制約の中、採光や空間の効率的利用で独自技術を磨いてきた企業が(株)ゼロ・コーポレーション（京都市、金城一守社長）だ。「まちなか住宅のエキスパート」として、年間約三百棟の実績を誇る。

同社の「紫野・ヤマザクラの家」は、都市型狭小住宅の理想を提案するモデルハウスだ。住宅密集地の境界線いっぱいにて建てられた旧住宅を解体し、建築されている。

天井付けの窓や壁の高い位置の窓から自然の光や風を取り込み、透明たれ壁やストリップ階段で、室内のすみずみに行き渡らせる。また、建物を中心にウッドデッキの中庭を配するなど空間を効率的に

使い、快適に住まう知恵が凝らされる。

高強度の集成材やホールダウン金物等を重点的に用いて耐久性を高め、メンテナンスが難しい

側面には接合部分が雨水を浸入させない構造の金属サイディングを用いたり、配管のメンテナンスにも配慮している。

国交省が定めた住宅性能表示制度——構造の安定、火災時の安全、劣化の軽減、維持管理への配慮、温熱環境、空気環境、高齢者への配慮なども高レベルでクリアしている。同社ではこうしたまちなか住宅で蓄積した知恵を、さらに郊外型住宅でも展開中だ。

また古都・京都の街並み再構築にも積極的に関与。同社が住宅建築家、大学教授らと取り組んだ「北大路まちなか住宅コラボレーション02」は二〇〇四年度の「グッドデザイン賞／建築・環境デザイン部門」を受賞している。

（株）ゼロ・コーポレーション 一

本社／京都市北区紫野上野町 108-1
☎075-495-1000、☎075-493-5680
<http://www.zero-corp.co.jp/>